

小学校3年生放課後補充教室「学びっ子」事業

予算額2,389千円

米原市の児童生徒の学力の状況

- ・ここ数年の学力状況調査で、継続して小学校は全国平均より低く、中学校で全国平均並みに回復している。
- ・学力の2極化の傾向がある。例えば、分数や小数点の学習が不確かな中学生が一定数いる。
- ・抽象的で、論理的な思考を必要とする活用力を問う問題に課題がある。



分析

低学年の具体的な学習内容から、抽象的、論理的な思考を必要とする中学年の学習には壁があり、これをうまく乗り越えられないと学習に対する自信をなくしたり、基礎的な学力が定着しなかったりする課題が残り、その後の学習活動に大きな影響を及ぼす。

抽象的・論理的な学習内容に変わる小学校3年生を対象に放課後補充教室を開設し、学力の定着を図り、学力の2極化を解消する。

4月中旬募集開始

小学校3年生放課後補充教室「学びっ子」

対象：9小学校の3年生の希望者
 内容：国語・算数の補充学習
 時間：週1回、1時間程度
 講師：教員OB等講師を任用

社会福祉課・子育て支援課との連携

- ・貧困家庭等へのアプローチ及び事業支援
- ・ファミリーサポート事業の活用

○小学校1・2年生

- ・視覚的な教材が多く、目で見て分かる情報が多く盛り込まれた学習内容

補充教室終了後
 ・放課後児童クラブ
 ・保護者の迎え

○小学校3年生

- ・抽象的で、論理的な思考を必要とする学習内容
- ※分数や小数点の算数の問題、読解力が必要な文章問題

小学校3年生放課後補充教室「学びっ子」事業実施要項

1 目的

抽象的・論理的な学習内容が始まる小学校3年生を対象に放課後補充教室を開設し、学力の定着を図り、学力の2極化を解消する。併せて、生活困窮家庭やひとり親家庭等要支援家庭児童の家庭学習の定着等学習支援に資する。

2 実施主体

米原市教育委員会学校教育課、健康福祉部社会福祉課、こども未来部子育て支援課および各小学校

3 対象

市内の小学校3年生

4 実施場所

市内小学校の教室

5 開催日・時間

1週間の内、学校が指定する1日の放課後1時間程度

6 指導者

教員免許を有し、児童の学習指導ができる者

1小学校に基本2人の配置とする。(参加児童数によって調整することがある。)

7 学習内容および支援内容

国語・算数の学習教材を使った学習

学校の宿題や学校の授業の復習・予習

個人学習を基本とし、指導者は分からないところをアドバイスするなどの支援を行うとともに、特に必要な場合は全体指導を行う。

下校については、必要に応じて子育て支援課のファミリーサポート事業を活用する。

8 指導者の業務

参加児童の学校からの引き継ぎ、学習指導、指導後の下校指導、保護者または放課後児童クラブへの引き渡し、小学校担任との連携、緊急対応、その他事業運営全般とする。

9 参加児童の募集

事前に教育委員会が学校と協議し、具体的な実施時間および教室等を決定し、各学校の3年生すべての保護者を対象に募集を行う。

生活困窮家庭等の要支援家庭児童については、併せて社会福祉課から事業の紹介を行い、参加を勧める。

10 児童の事故等に対する補償

児童の事故等に対する補償は、市が加入する学校災害賠償補償保険の範囲内で対応する。

11 募集時における保護者への確認事項

- ・教材費については、個人負担とする。
- ・学習中の児童の事故等に対する補償は、市が加入する保険の範囲内で対応する。
- ・学習中の指導については、指導者の指示に従うこととする。
- ・教室終了後は、放課後児童クラブに参加、高学年児童と共に集団下校または保護者迎えのいずれかとする。

12 その他

その他、事業に関わることについては、学校教育課と協議する。